

子どもから大人までもがいっしょに楽しめる。
生命の温もり、愛とやさしさがいっぱいです。

5歳
以上

人形劇/上演時間 約70分/対象年齢 5歳以上

卵をとるのはだあれ？

原作：荒木昭夫
戯作・演出・音楽：中立公平 仮面製作：中筋喜春
日本で一番笑える児童演劇。



主 大阪市学童保育連絡協議会
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目2-2-202
催 TEL 06-6763-4381 FAX 06-6763-3593

大阪市連協恒例の 冬のおたのしみ会

12月26日(水)
第1回公演/11:30~
第2回公演/14:00

阿倍野区民センター大ホール

劇団KIOの観劇

地下鉄谷町線、阪堺上町線「阿倍野」
下車 徒歩2分

鑑賞料金 1,200円 (引率の大人は無料)

卵をとるのはだあれ？ 日本で一番笑える児童演劇

あらすじ



フィフィ

たいくつしていたこども、魔女のフィフィ。
たいくつしのぎに人形のネコを大きなネコに変えちゃった！
そこへ卵博士が現れて7個の卵を預けていった。
きれいな卵にフィフィは大喜び。

でもそのすぐ後にケンケン蛙が現れて1・2・3、
そのまたすぐ後にフニフニとかげが現れて1・2・3個の
卵を取り返して行った。
たったひとつ残った卵はネコの頭にくっついて取れなく
なっちゃった！ネコは困るし、卵博士は返せと怒るし、
卵は大きくなるし、ポオット猿モドキまで出てきて、
てんやわんやの大騒ぎ。

フニフニとかげ



ケンケンがえる

実はこの卵は「見たものそのものになるという1000年に
1度しか生まれない幻の卵」だったのです！
いくらすごい卵でも、この卵はお母さんに返してあげなくちゃ。
フィフィは卵を抱いてお母さん探しに出かけます。

卵は無事お母さんの元に帰る事ができるのでしょうか？



卵博士